

YWVOB会 会報 No.45

横浜国立大学ワンダーフォーゲル部OB会

<http://ywvob.com/>

2010年9月1日発行

～ 45号の目次 ～

・YWVOB 会長ご挨拶	1	・期別便り (30・50期)	10
・第2・3回 OB 役員会報告	2	・自由投稿	11
・2011年度 OB 総会案内	4	・諏訪大社御柱祭/合同同期会	
・第28回 OB 山行 (川苔山) 報告	5	・YWV 現役部員の活動紹介	13
・第29回 OB 山行 (赤城山) 案内	6	・新入部員紹介/テントが新しくなった	
・山の保険に入っていますか?	7	・春から夏にかけての活動/夏合宿の計画	
・苗名小屋便り	8	・今年もやります伝統のカレー店	
・山菜採りと山城巡り/小屋山行・黒姫山登山		・OB 会費納入のお願い	15
・秋の小屋行事のお誘い		・編集委員からのお知らせ	15

■ YWVOB会長ご挨拶

会長 鈴木弥栄男 (9期)

今年の梅雨明け以降の猛暑は記録づくめであり、世界でも、例えばロシアや欧州での猛暑、中国での大雨、南米での大雪と、エルニーニョ現象だけでは説明が付きません。そんな中で爽やかなる OB 会報 45 号を皆様にお届けいたします。

我が OB 会の水源である現役では久しぶりに 9 名もの入部者があり、新人練成合宿を 3 回に分けて実施したという朗報が入っています。逆にシニア OB 山行は 7 月には第 126 回を迎え 50 名弱もの参加者があり、苗名小屋の改造・修理にも新しいメンバーが協力し始め、OB 山行には家族も参加し、複数期に跨る懇親会開催の継続・発展、部史編纂など、次々と新しい OB 会活動が展開され始めています。メルマガや HP という今流行の電子媒体による情報と併せて、従来の紙資料によるこの会報も活用して頂き、OB 会活動を大いに利用し、参加し、楽しんで頂ければと思います。



めったに見られない氷見海岸からの剣・立山 (2010年5月15日) 撮影 山田信吾氏 (7期)

■ 第2・3回 OB会役員会報告

副幹事長 西田 雅典 (20期)

第2回 OB 会役員会報告

2010年4月17日(土)、サンピアン川崎で今年2回目の役員会が開催された。21名と多数の参加により、各委員会報告、特別準備金、山行保険、役員会規程などにつき活発な議論が交わされた。今回は現役からも2名が参加し相互理解と交流が一層深まった。

【出席者】 嘉納 (1)、吉野 (2)、松本 (8)、鈴木 (9)、安藤 (11)、榎本 (12)、小浜 (17)、山口 (18)
 笛木 (19)、石垣、西田、安武、武藤 (20)、白木、横溝 (21)、笹倉 (30)、小野、親跡 (34)
 塩野 (46) <現役> 野中 (52)、佐藤 (53) 以上21名

【議事：要旨】

- 1) 前回役員会議事確認 (西田)・・・2010年1月の議事確認。
- 2) 委員会報告
 - ① 総務委員会 (横溝、武藤)
 - ・次回2011年度OB総会日程・・・10月30日(土)
 - HCD(横浜国大ホームカミングデー)と同時開催で決定。規程見直し、保険検討。
 - ・複数人によるメルマガ編集体制を検討。
 - ② OB小屋委員会 (安藤)・・・1~3月で3回の雪下ろし実施(現役も参加)。
 - ③ 編集委員会 (松本)・・・会報45号は8月1日原稿締め、8月30日頃発行(総会詳細案内)。
 - ④ OB山行委員会 (小野)・・・次回5月15日は奥多摩・川苔山の予定。3月13日下見。
 - ⑤ ホームページ委員会 (鈴木)・・・HPトップページのイメージ変更(自動更改)。
 - ⑥ 部史編纂委員会 (嘉納)
 - ・編纂作業詳細説明(HP掲載)。20箱あるカートンボックスの整理開始。見えない文字のトレース、ホチキス止め外し、リスト作成、写真撮影など。
 - ・合宿などへの参加メンバーが代表者になっているケースが散見。記録を正確に残すため、当時の現役名簿(OB会不参加の人も含めて)の活用が必要。
 - ⑦ 会計 (吉野)・・・小屋寄付が08年127千円、09年113千円、10年は86千円と減少傾向。
- 3) 特別準備金の扱い
 - A) 現状と論点確認 (西田)・・・これまでの経緯、準備金の帰属、運営ルールの整備。
 - B) 特別準備金以外にYWWで新たに136万円の遭難対策費用の預金が発見された(塩野)。
 - C) 現役の考え方 (野中、佐藤)
 - ・計画的に小屋修繕費にあてるのは同意。準備金自体が降ってわいた話。積み立てに参画していなかったが、現在現役は遭難対策費を積み立てておらず、全員登山保険に入っていると聞いたように思いますが確認してください。
 - ・執行部が毎年代わる現役で、上記預金の確実な管理は、準備金と同様に難しい。
 - D) OB会の考え方と提案(役員会)
 - ・準備金の積立て経緯とこれまでの議論を踏まえ下記を提案する。
 - ① 準備金は現役とOB会双方の公式な出費に使用可能とする。
 - ② 使用の対象としては、現役の活動費(装備購入費など)、山小屋臨時補修費、記念事業費(現役交流会、60周年など)、遭難対策積立て(現役、OB会公式行事)等。
OB会通常活動費やシニア山行遭難対策費等は非対象。
 - ③ 新規に発見された遭難対策費預金136万円も現在の特別準備金と同様にOB会で管理する。
 - ④ 不慮の遭難対策関連費を確保するために最低預金留保額を決めておく。

以上、現役の間で討議してほしい。同意ならば、次回役員会までに運営ルール含め特別準備金協定書の変

更につき、事前に野中と西田、武藤間で意見調整しながら進め、役員会で討議のうえ、次回総会に諮る。

4) 現役からの緊急要請 (野中)

- ・ 現在使用中のテントは 20 年来のものでポールが折れるなど活動に支障が生じている。
大学からの補助 (年 5 万円) は通常活動への充当程度であり予算がない。
については、緊急にテント 3 張りについて OB 会に支援をお願いしたい。
- ・ OB 会としては現役の安全な活動のためにも必要な出費なので OB 会からテント 3 張りを寄贈したい。
役員満場一致。次回の総会にて報告。

5) 部室内資料の保管方法の改善 (嘉納)

- ・ 資料整理のため棚を設置したい。現役および役員会全員が同意。

6) OB 公式山行にかかる保険付保 (山口)

- ・ 各種保険の比較検討報告。山岳共済会軽登山コースが有利。
保険料 2000 円 + 共済会年会費 1000 円で加入可能。
自己責任原則なので、今後 OB 山行前に HP、メルマガ、会報などで紹介していく。

7) 役員会運営規程の整備 (白木)

- ・ 修正案提示。次回役員会で最終確認。

8) 公務での事故について (白木)

- ・ 緊急連絡網につき案提示。
保険、規程含めて次回役員会で議論。

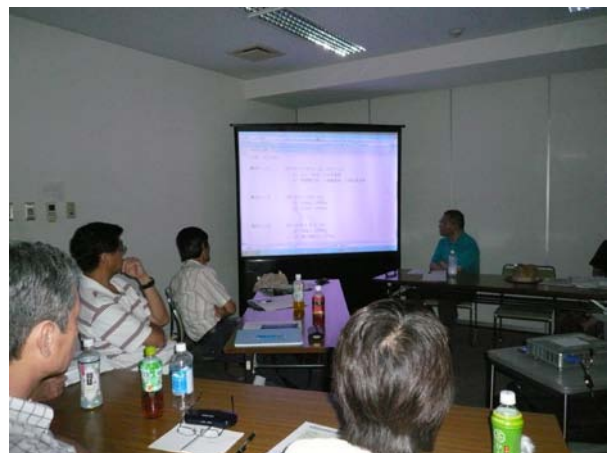
次回役員会
7月31日(土) 14:00~
「てくのかわさき」
(南武線・武蔵溝ノ口、東急線・溝の口)

第3回 OB 会役員会報告

2010年7月31日(土)「てくのかわさき」で役員会が開催され、16名(内、現役1名)の参加により、特別準備金や部史編纂などにつき活発な議論が交わされた。

【出席者】

嘉納 (1)、吉野 (2)、吉村 (3)、鈴木 (9)、
下村 (10)、安藤 (11)、榎本 (12)、山口 (18)、
石垣、西田 (20)、横溝 (21)、松本 (29)、
笹倉 (30)、小野、親跡 (34)
<現役> 野中 (52) 以上 16 名



【議事：要旨】

1) 委員会報告

- ① 総務委員会 (横溝)・・・20期~23期有志会合でOB会への寄付があった。
8月7日(土)に現役夏合宿壮行会を計画(現役から10人参加予定)。
- ② OB 小屋委員会 (安藤)・・・6月山菜・山城散策、7月黒姫山行実施。小屋の床が要補修状態。
来週現地で岡田氏に相談し8~9月に工事の予定。
- ③ 編集委員会 (下村)・・・会報発行予定(45号:9/1、46号:12/25)自由投稿募集中。
- ④ OB山行委員会 (小野)・・・次回第29回は10月16日(土)赤城山。
2011年計画案について討議。
第30回 1月22~23日(土・日)箱根駒ヶ岳・強羅
(第30回記念で登山後温泉に宿泊)

第31回 5月14日(土) 毛無山
第32回 10月22日(土) 金峰山

- ⑤ ホームページ委員会(吉村)・・・HP紹介。アップデートの体制について今後検討。
- ⑥ 部史編纂委員会(嘉納)・・・編纂作業継続中。書類整理の手段(ファイリングボックスとスチールラック)説明し了承。8月4日に部室で現役立会いのもと設置の具体的仕様を決定する。
- ⑦ 現役からの報告(野中)・・・新人9名入部(部員合計15名)。夏合宿は8月8日から北アルプス。

2) 特別準備金(以下、「準備金」)の扱い(現役主将も討議に参加)

- ① 現在の準備金(約532万円)に新規に発見された遭対費用預金(約136万円)を合わせて準備金(約668万円)とする。
- ② 準備金は現役とOB会の両方に帰属し、相手方の同意を得て現役の活動費(装備購入費など)、山小屋大規模改修費、記念事業費、遭難事故処理関連費用(現役公式活動、OB会公式活動)に使用することができる。
- ③ 準備金をOB会が使用する場合はOB会役員会の決定、現役が使用する場合は部会の決定を経て、相手方と誠意を持って協議し同意を得て使用が決定するものとする。
- ④ 1回の使用限度額は200万円とする。
- ⑤ 特別準備金はOB会で管理しOB総会で報告する。また要求があれば現役に報告する。



次回役員会
2010年10月23日(土) 14:00~
「てくのかわさき」(川崎市生活文化会館)
tel: 044-812-109
(南武線・武蔵溝ノ口、東急線・溝の口駅)

猛暑の中2時から5時まで休憩なしで熱心に議論が行われました。
親跡氏(34期)は今回も妙高から日帰りで参加。ご苦労様でした。

2011年度OB総会案内

会 長 鈴木弥栄男(9期)
総務委員長 横溝 真司(21期)

今年もYWVOB総会を横浜国立大学のホームカミングデーに合わせて開催します。
YWVの懇親会もホームカミングデーの交流会会場にて実施します。
みなさん10月30日はぜひ常盤台キャンパスでお会いしましょう。

【日時】2010年10月30日(土)
【場所】横浜国立大学 常盤台キャンパス

- ※ 開催時間、教室番号、参加方法、参加費等については、9月初旬配信のYWVOB会メルマガまたはYWVOB会のホームページで詳しくご連絡します。
- ※ 横浜国立大学ホームカミングデーの内容については横浜国立大学ホームカミングデーHPをご覧ください。

○ 同封のOB総会返信用ハガキで近況をぜひお知らせください。住所・アドレス等の変更もご連絡ください。



霧ヶ峰のニコウキスゲ
(2010.7.21)
撮影 郡司直樹氏(4期)

■ 第 28 回 OB 山行（川苔山）報告

OB 山行副委員長 小浜一好（17 期）

【参加者】 嘉納 (1)、吉野 (2)、佐木 (8)、鈴木 (9)、山本 (10)、榎本 (12)、小口、狩野 (14)、中島 (15)、白須、山下、梅野、小浜 (17)、山口 (18)、小野 (34)、梅野佐保子 (家族) (参加者 16 名)

今回の OB 山行は 5 月 15 日 (土)、奥多摩の川苔山に行ってきました。天気にも恵まれ、五月の新緑が輝き、藤の花やつつじが山々に彩りを添える気持ちの良い山行でした。

参加者は 16 名、初参加は 17 期梅野氏の長女佐保子さん、さわやかな笑顔で登場しました。父親に似なくてよかったという声もありましたが、ジーンズとスニーカーの出で立ちで楽々と踏破していました。

8 時 28 分奥多摩駅着の電車組と車組が集合し、揃って 8 時 35 分のバスに乗りました。さすがこの時期は登山客でごった返し、1 台には乗りきれず増発が出て、2 台に分乗することになりました。9 時 登山口である川乗橋を出発してしばしの林道歩き、山道に入り谷沿いを詰めると落差 20m を超える百尋ノ滝に出ました。水量の多さに涼味を感じた後、よく整備された山道を歩き最後の急登を過ぎて、12 時 40 分、川苔山山頂 (1363m) に到着しました。

昼食休憩の後、長〜い下りをひたすら歩きました。3 月に偵察に行きましたが、その時は至る所で倒木があり、乗り越えたり潜ったり迂回したり難儀しました。今回、登山道はかなり整備されていましたが、それ以外は暴風雨の爪痕が痛々しく残っていました。

15 時過ぎに鳩ノ巣駅に直接下りてきて、電車を待つ間、駅前の食堂の屋外テーブルで打ち上げ。ビールで乾杯し、つまみはわさびこんにゃく、ぬか漬、枝豆といった地の物で山行の無事を祝い、再会を期しました。

佐保子さん曰く「こんなに多くのおじさんたちと一緒するのは初めて。おじさんは面白い。また OB 山行に参加したい。」とのこと、ほめられたのか、それともあきれられたのか。

いずれにせよ、皆様 10 月 16 日 (土) の赤城山でまたご一緒しましょう。

歩行時間 5 時間 20 分、歩行距離 12.3km、標高差約 1000m



川苔山山頂にて 撮影 山口貢三氏 (18 期)

■ 第 29 回 OB 山行（赤城山）案内

OB 山行委員長 小野恵美子（34 期）

秋の OB 山行は上州の百名山、赤城山を目指します。国定忠治の名台詞で有名な赤城山ですが、赤城神社や大沼など見どころ満載の楽しいコースです。美しい紅葉と展望をぜひ一緒に。多くの方のご参加をお待ちしています。



〔日 程〕 2010 年 10 月 16 日（土）

〔行 先〕 赤城山（あかぎさん）

<黒檜山（くろびさん・1,827m）、駒ヶ岳（こまがたけ・1,685m）>

〔地 図〕 昭文社山と高原地図「20 赤城・皇海・筑波」

〔集合・交通〕

電車でのアプローチは時間的に難しいため、横浜・東京方面からマイカーを出せる方の車に分乗して登山口に向かう予定です。

出発は 横浜近辺 5 時 30 分頃、東京近辺 6 時頃になると思います。

お申込みの際、お住まいの場所とマイカーか同乗希望かをお知らせ下さい。

参加者が決まりましたら調整いたします。

関越自動車道前橋 IC から赤城道路で赤城少年自然の家を経て、赤城神社駐車場へ。

登山開始は 10 時頃の予定。

〔行 程〕 赤城神社北側駐車場—黒檜山登山口—黒檜山—大ダルミ—駒ヶ岳—駒ヶ岳登山口⇄覚満淵周遊—赤城神社北側駐車場 [歩程約 4 時間 10 分]

〔参加費〕 500 円（写真代等）

〔持ち物〕 昼食、水、おやつ、雨具、防寒具、その他登山に必要な物

〔温 泉〕 富士見温泉ふれあい館（500 円）などあり。下山後ご希望の方はご用意を。

〔申込み〕 参加ご希望の方は 9 月末頃までに下記のいずれかにご連絡ください。

申込先

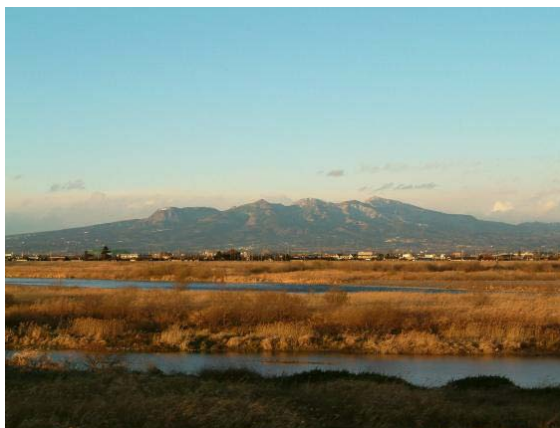
小浜 一好（17 期） 電話：090-8647-7275 メール：kohamak@dream.com

山口 貢三（18 期） 電話：090-9962-7126 メール：k2ysyamaguchi@nifty.com

小野恵美子（34 期） 電話：080-5517-7320 メール：emiko150@s9.dion.ne.jp

赤城山の最高峰 赤城山の最高峰

黒檜山に登る



山の保険に入っていますか？

山行副委員長 山口貢三 (18期)

皆さん、ハイキング(山岳)保険に入っていますか。

毎日のように山の遭難、事故のニュースが聞かれます。特に中高年の事故は年々増えているそうです。OB会の皆さんも、毎年大勢の方がOB山行、シニア月例会、個人山行と精力的に山に出かけています。OB会もシニア月例会も事故の起きないように万全の準備と対策を施しておりますが、万一の遭難、事故がないとは言いきれません。もし遭難、事故が起きたらどうしますか。

OB会もシニア月例会も、会則、規程で下記のように定められております。

- OB会会則 第68条(ワンダリング活動に係わる責任の所在)
本会が実施するワンダリング活動中の疾病や事故・災害については、本会は責任を負わない。
- シニア月例会規程 保険加入
参加者の個人責任でハイキング保険に加入する。

万一事故が起きても会としては金銭的な責任は負いません。捜索にしろ、救援にしろその費用は個人負担です。多額の費用が発生することもあります。

そのために、ハイキング(山岳)保険に加入することをお勧めします。

本会会員にふさわしい保険を下記に掲げました。シニアはハイキング保険、若手は山岳登攀も適用を受ける保険がお勧めです。いずれもインターネットから簡単に申し込みます。

ハイキング(山岳)保険一覧

個人加入のお勧め		保険料(年) 入会金含む (円)	年齢制限	山岳	ハイキング	救済費用(事故) (万円)	救済費用(病気) (万円)	遭難捜索費用(事故) (万円)	遭難捜索費用(病気) (万円)	個人賠償責任 (百万円)	死亡(事故) (万円)	死亡(病気) (万円)	入院(病気) (千円/日)	入院(事故) (千円/日)
	レスキュー費用保険	5,000	なし	○	○	300	300	300	300	×	×	×	×	×
○	モンベル野外活動保険	2,740	78歳	×	○	500	×	×	×	100	236	×	×	×
◎	山岳共済会軽登山コース	3,000	協会員 (年1000)	×	○	300	×	×	×	100	176	10	×	2
	山岳共済会山岳登攀コース	4,560	協会員 (年1000)	○	○	×	×	100	100	100	100	10	×	×
○	ハイキング保険(木村総合保険)	3,000	80歳	×	○	500	×	×	×	×	106	×	×	1.2
	三井ビューローハイキング保険	2,630	70歳	×	○	500	×	×	×	100	0.8	×	×	0.8
	日本山岳救助機構会員制度	3,800	なし	○	○	250	250	250	250	×	×	×	×	×
◎	あいおい損保1泊2日おでかけ	500円/1回	69歳以下	×	○	200	×	×	×	30	936	×	×	7

注意 病気の場合は対象外となる場合が多い。

OB会での団体加入は現在行っていません。

ハイキング保険(木村総合保険)には、上記内容で 3年 7,500円というコースがあります。

用語 「救援者費用保険金」

ケガ(偶然かつ急激な外来の事故)で公的機関等を通じて通報があり救助費用の自己負担が発生した場合は対象となっても、病気が原因では対象外という規定もあります。

「遭難捜索費用保険金」の「遭難」とはピッケル・ザイルを使用するいわゆる山岳登山中に下山予定を48時間以上経過しても戻らず、親族から公的機関や所属山岳会等を通じて捜索を依頼すること。

■ 苗名小屋便り

山菜採りと山城巡り

小屋委員長 安藤 貞利(11期)

日程:2010年5月29日(土)、30日(日)

参加者:15名(部外者:4名)



今回の行事の目玉は

- ① 小屋周りの山菜採りと天婦羅で手打ち蕎麦とのグルメ
- ② 昨年に続いての山城巡りです。

山菜を詳しく知っている諸角さんが前日熱を出してしまい不参加となって、指南役がいない中で、いわば素人集団による山菜採りになりました。

従って収穫は「曲り竹」「アザミ」「ウド」「ワラビ」「コゴミ」「タラの芽」だけでした。

今年は、雪解けが遅く、山菜も小屋の周りにはほとんどなく、林道を下って道路脇の山菜を採りました。

お蕎麦は、昨年は7期の松本さんに

事前に打って頂き美味しく食べましたが、今年は鈴木会長の友達の青木さんをお願いして、喜多方の蕎麦粉100%の蕎麦を打って頂いたものを持ってきていただきました。

しかし、土曜の夕飯に焼きそばを食べ過ぎて、結局お蕎麦を食べたのは、朝食でした。

茹で方が難しく、初回は蕎麦が細切れになってしまいましたが、2回目、3回目にはやり方を覚え、長目の蕎麦に茹で上がりました。

今回の山城巡りは、昨年に続く第2弾として「鳥坂城址」「猿橋城址」を歩きました。

行く途中、関山神社にお参りしてきました。特に猿橋城址は、200mもの急な登りが続くせいか訪問者の数も少なく、登山道は踏み後も多くはなく熊の冬眠跡を発見したくらいです。

猿橋城址の展望台の周りは、ネマガリダケが生えていて、ちょうど竹の子の季節で、すぐに手に抱えるぐらい採れました。竹の子は標高が500m位でちょうどよい季節だったようです。

その途中では、昆虫に詳しい嘉納さんに色々講義をして頂きました。ジョウカイボン、ウスバシロチョウなどが出ていました。

また、今回は去年の秋に切り倒したイタヤカエデの幹にドリルで穴を開け、ヒラタケの菌を埋め込みました。来年にはキノコが期待できるかもしれません。

山小屋山行 黒姫山登山

白須 謙治 (17期)



日 程 : 2010年7月18日(日)

参加者 : 鈴木(9)、榎本(12)、小口(14)、小浜(17)

白須(17)、山口(18)、親跡(34) 計7名

4時起床、5時余裕含みで小屋を出発。相変わらず皆さん手際がいいですね!

7名の日頃の行いの良さを示すよう「梅雨明けとはこのことか!」と言わんばかりに、昨夕までの豪雨が嘘のような好天。笹が峰へ上って行く車に、下りていく我々2台の車はどう映るのだろうかなどと思いながら、コンビニで食料を調達して大橋登山口へ。

3、4 台しかない狭い駐車スペースにも 1 番乗りでき幸先上々。

6 時 5 分、大橋登山口を出発して種池、古池に向かう。木立に囲まれた沢筋の道は昨日までの雨で、水たまりやぬかるみで歩きにくい。種池は道から少し入った静かな佇まい。古池の手前はひらけており沢筋から水が流れ込むせいであろうか、水量も豊富で堰からきれいな水が溢れ出していた。

展望のきく古池を半周して新道分岐への登りにかかる。ぬかるんだ沢筋の歩きにくさは相変わらず。小口氏、小浜氏、親跡氏らが後続に注意しながら交代でトップをしてくれる。「戦中派がいるので宜しく。」などと言っている鈴木会長も元気元気。「私も（朝鮮戦争）戦中派です・・・」なんてとても言えません。

鈴木会長、山口氏の GPS で現在地情報を楽しみながら 1 時間少々で新道分岐に到着。

小休止中に、山口氏のズボンのすそや靴の汚れが少ないことを発見。周りを見ながら、どうやら汚れは年間の山行数に反比例するらしいと妙に納得。

東登山道と違って直射日光が当たらない新道ながら、体から湯気を立てつつ 2 時間余り登ると森林限界を超え素晴らしい展望が開けた。

右手には北アルプス、富士山まで遠望でき、左手眼下には長野市内まで一望。写真撮影をしながら黒姫山頂 (2053m) に到着、大パノラマを満喫しつつ昼食。

下りは峰の大池を経由する西登山道から、新道分岐、大橋林道へと進むことに決定。峰の大池までの急な下りは、ぬかるみに足を取られたり、水たまりに尻もちをつかないようご用心、ご用心。

峰の大池は深さ 50m 程の澄んだ池で、ドーム型の小黒姫の眺望が素晴らしい。峰の大池の先の岩陰に氷を発見。緑陰と岩と苔に守られた小さな氷室、天然のクーラーとは正にこのこと。

沢の水を補給しながら、緩やかな下りを新道分岐まで進み、沢筋の登りルートと別れて林道歩きを約 1 時間、終着地の大橋登山口に予定どおり 3 時過ぎに到着。



一足先に帰る山口氏を黒姫駅に送り、杉野沢温泉に向かった。

ここでも、榎本氏のご厚意による回数券を利用して汗を流すことができ大満足の山行であった。

末筆ながら、小屋整備をしながら我々一行の帰りを迎え、バーベキュー奉行をしてくれた笹倉氏にもお礼申し上げます。ありがとうございました。

秋の小屋行事のお誘い

10月9日(土)、10(日)、11日(月)

小屋をベースに周りの山の紅葉を楽しんでください。笹ヶ峰が紅葉の一番きれいな季節です。

今年のキノコはどうでしょうか。秋の苗名小屋をそれぞれ楽しんでください。

■ 期別便り

30期便り (いとしきワンダラーへ)

安本健一 (30期)

「楽しく山に登って、頂上に着いたら山小屋でギターを弾いたり歌ったり、とにかくワイワイガヤガヤ楽しいから。」地元の先輩である28期梅田さんからかけられた言葉は、それまでバスケしか知らなかった私には何とも魅惑的だった。ところが入部したYVWというところは、とんでもないSMの世界だった。

点数を競うのがスポーツだと信じていた私には、煙草の煙が充満した、あのやぼったい部室の雰囲気はまず違和感ありまくりだった。そもそも自分を「30期の安本です。」と自己紹介することに抵抗を感じ、目の前に広げられたいくつもの山道具のどれ一つも清潔には思えなかった。「でも登ってみるといいもんだよ?」...。まただまされた。その一言に懸けてしまった。実際登った山では、想像以上の我慢大会が繰り広げられた。気の遠くなるような長い坂道をひたすら登り、トイレトペーパーで拭くしかないメンツで食事をし、汚れても服は着替えない。極めつけはやはり野キジだった。人を見たり見られたり。「ここはどこー」って感じだった。そんな私を29期と30期は優しくいたぶってくれた。

気が付いたら大ボケとか悪人呼ばわりされていた。そのうちにそう呼ばれることに抵抗がなくなり、新たな境地に達した。あの頃が人生の分岐点だったのだろうか、。

20人ちかくいた同期にはとにかくいろんな奴がいた。それだけに喜怒哀楽、全てのエピソードには事欠かなかった。

・・・あれは確か2年の夏休み前。詐欺にあって10万円程を取られてしまった私に、ワンゲルのみんなは「みんなでカンパして安本を夏合宿に行かせてやろう!」と言ってくれた。そして部室にあった中核派のヘルメットがその場でまわされ、重たくもない財布から、みんな幾ばくかを出してくれた。特にいつも私をいたぶってくれていた29期の舟本さんは、なけなしの5000円札を出してくれた。そのお札を自分の財布にありがたくしまいながら、私は舟本さんの唇が『おつりってもらえるのかな・・・』と動くのを、見て見ぬ振りをした。すっかり一人前のワンダラーになっていた。

【連絡先】 安本写真館 安本健一 福井市つくも1-1-28 TEL 0776-36-1585

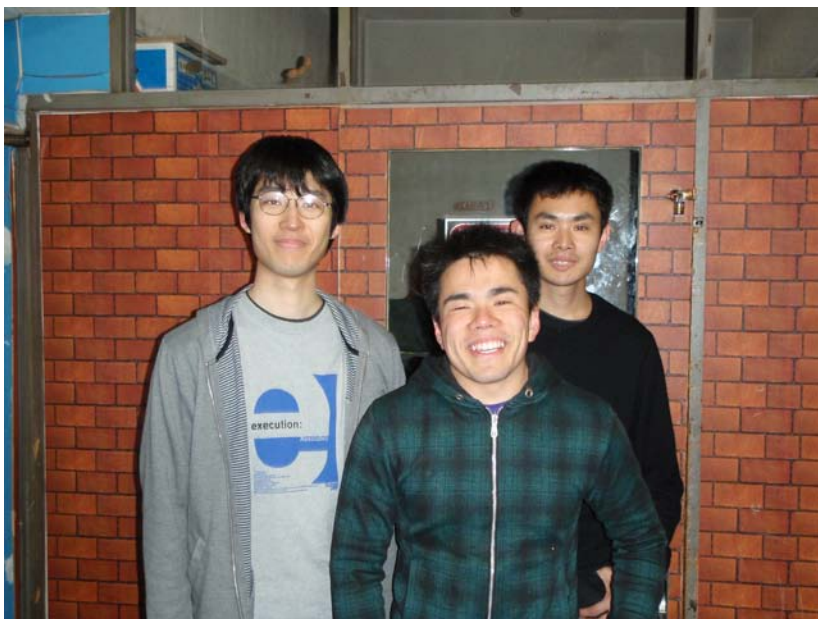
yasumotoshasinkan@celery.ocn.ne.jp

50期便り

石倉 研 (50期)

今年3月に国大を卒業した50期ですが、全員大学院に進学したため、まだ学生をやっています。高岩、御園は引き続き国大で、私石倉は一橋にて、それぞれの研究に勤しんでいる毎日です。院生にもなると、今までのように活発に山には登れませんが、学生のうちに50期全員でどこかに行ってみたくも思っています。

また卒業してからも、たまに部室で飲み会をしており、今でもワンゲルのつながりは強固といえます。



学部時代は、登山以外にも、みんなでよく飲んだり、麻雀を打ったりなどしてきました。卒業して振り返ると、4年間あっという間でしたが、ワンゲルでのかけがえのない思い出を胸に今後も精進していくつもりです。

卒業前(2010年3月21日)に部室にて

左から石倉、御園、高岩

自由投稿

諏訪大社御柱祭の上社山出し曳行に参加（4月3日）

郡司 直樹（4期）

今年も諏訪大社御柱祭で死者が2名発生してしまいましたが、この一見危険な祭りで御柱の曳行に参加する機会がありましたので、その経緯と顛末を記します。

それでも今年の諏訪大社御柱祭には、井上義雄さん（7期）が上社山出しの追っかけを、中島一夫さん（15期）が下社山出しの木落しを観覧したと、シニアOB月例会4月の蛾ヶ岳山行時に聞きました。

諏訪大社御柱祭は数え7年目ごとに宝殿の造営、調度品の新調とあわせて、社殿の四隅に「御柱」と呼ばれる樹齢200年余の縦巨木を曳き建てる祭儀で、御柱の用材を上社（前宮、本宮）は八ヶ岳中腹にある茅野市原村の八ヶ岳中央農業実践大学校から約25km、下社（春宮、秋宮）は霧ヶ峰中腹の下諏訪町東俣川溪谷沿いにある棚木場から約10kmの道のりを氏子が木遣り歌と共に曳行します。上社8本、下社8本の御柱は、大きな柱だと周囲3m、長さ17m、重さ12～3tにも及び、車もコロも使わずに人力だけで曳き建てられます。

4月に曳行開始される「山出し」では、大きなカーブを曲る難所の大曲、急斜面を下る木落し、上社の場合にはさらに宮川の川越しが見どころになっています。5月には神社までの道中を曳き、御柱を各社殿四隅に建てる「里曳き」が行われます。

上社（男神）の御柱は先・後端に長い棒を差し込んだV字型の「めどでこ」が特徴で、めどでこへ氏子の若衆が沢山ぶら下がり「ヨイサ、ヨイサ」と曳綱に号令をかけます。木落しも川越しもめどでこに若衆が乗ったまま曳かれるので、大いに盛り上がりますが危険と隣り合わせです。但し、めどでこには左右に引く曳綱があり、綱係が左右の傾きを調整する仕組みになっています。

一方、下社（女神）の御柱にはめどでこがなくて、木落しでは若衆が御柱に跨ったまま急坂を下りますので、御柱が回転すると乗っていた若衆が全員転落するから、こちらの方が危険度は高いと思います。危険性から当然ヘルメット着用、命綱装着が義務付けられるところですが、諏訪大社御柱祭は平安時代から継続している宗教行事のため警察も強く介入できず、当日は警官が御柱の周りをパトロールしているだけでした。



上社御柱祭山出し木落し

私はシニアOB月例会とは別の月例山行グループYTC（悠遊山行倶楽部）の仲間S氏から誘われて、今回御柱祭へ原村の氏子に混じり参加することができました。S氏は横須賀市在住ですが、以前から原村に別荘を持ちたくて、適当な場所を探していました。そこへ原村役場の農林商工観光課長が住民以外にも希望者を御柱祭に参加させる企画を立ててS氏夫妻に声をかけてきたので、北杜市清里のリゾートマンションを持つYTC仲間のY氏夫妻、Y氏の友人で北杜市白州の別荘に住み自然観察指導員となったS氏夫妻と共に私が参加する機会を得た訳です。

御柱の曳き綱を引く者は揃いの法被で鉢巻、地下足袋姿です。S氏夫妻は遠からず原村に別荘を持つつもりですから、課長から勧められて原村の法被を買って着用しましたが、S氏と私は無料で原村の法被を借りて着用しました。私は鉢巻、地下足袋を持参しましたので、姿だけは原村の曳綱組に混じっても違和感はありませんでした。

原村は泉野と組んで上社前宮二の御柱曳行担当です。4月3日は山出し2日目で、前日に子之神付近まで曳行した御柱は朝8時には当日の曳行が開始された筈ですが、我々は9時に原村役場に集合して車で御柱を追いかけてきたから、ようやく長峰信号手前で御柱に合流することができました。それにしても物凄い人出で、私は皆と離れて写真を撮っていたので、仲間とすぐに逸れてしまい、茅野高校の校庭で昼食の時はいくら探しても仲間が誰も見付からず、S氏夫人手製の弁当を一人で食べる羽目になりました。

昼食後はすぐに木落しですが、ここでは木落し坂の頂上まで御柱を曳行して、半分ほど御柱が空中にせり出

した後に御柱の後尾に繋がれたブレーキ用の綱を斧で切断すると御柱が重力に引かれて落下してきます。幸い今年は無事落ちてめでたから振り落とされる若衆が発生しませんでした。

この後に続く川越しは予定が遅れて、前宮二の御柱は翌日朝に延期なので、前宮一の御柱の川越しを見て、原村へ戻るグループと別れてS氏車組は上社本宮、前宮を参詣した後に清里のY氏のリゾートマンションに宿泊しました。翌日は八ヶ岳川俣川東沢溪谷を吐龍の滝から清泉寮まで散策と、北杜市武川の山高神代桜の花見をして帰りました。



八ヶ岳川俣川東沢吐龍の滝



山高神代桜

今年は新宿に乱痴気騒ぎの集団 現る

石垣秀敏 (20 期)

☆ 20～23 期 合同暑気払い報告

昨年、22 期の山崎さんが総合幹事をしてくれた 20 期～23 期合同暑気払いは余りにもバカ騒ぎが過ぎたため、今年の開催が危ぶまれましたが、22 期の成島さんが夏場のキリンビール販売促進(?)も兼ねて、総合幹事役に手を挙げてくれましたので、無事 7 月 23 日に開催されました。場所は新宿の「美祿亭」。平日の 19 時開催にもかかわらず、写真でお分かりのようにすごい数です。皆さん、暇だね。今回も「相変わらずワンゲル伝統ともいえる、周囲を気にせず山中と同じように無茶苦茶に飲み・食い・大きな声で話し、最後は全員でみはるかすで締める」(成島さんのコメント) パターンは不変であり、20 期のあぶさんのエールも不変です。

ノリの良さは学生時代のコンパそのもので、乱痴気騒ぎの宴が展開されました。50 歳過ぎのおじさん、おばさんがこの場だけは二十歳そこそこの若者の顔をしています。また、飲み始めると人の話を聞かない癖も昔と同じで、前で山小屋日記の話をしている 20 期のあぶさんの話を聞いている人はわずかです(左の写真参照)。例外は特別ゲストの 9 期の鈴木会長がお話をされた時だけで、この時は皆さんもさすがに分別が残っているのか、しっかりと聞いていました。



鈴木会長、ありがとうございました。成島さんを始め幹事の皆さん、ありがとうございました。また、ご参加の皆さん、お疲れ様でした。参加者 34 名は、9 期(鈴木会長)、20 期(石垣・加賀・作山・玉木・水田・武藤・安武)、21 期(佐藤・白木・谷内・鳥井・成島・藤倉・村松・山崎・山室・横溝)、22 期(浅沼・鴨志田・酒井・津江夫妻・橋岡・舟本・柳澤・山崎・山田)、23 期(伊藤・大津山・木村・高岡・中戸・武藤) 五十音順。皆さん、来年も集まりましょう。

【追伸】バカ騒ぎの様子はこの会報でお伝えするのは不向き(または不可)ですので、詳細は 20 期のホームページでお伝えすることに致します。

■ YWV現役部員の活動紹介

主将 野中 拓登 (52期)

新入部員の紹介

今年 (54期) の新入生は9人です。例年よりも多い人数で、うれしい限りです。全員1年生です。

- ・荻野羅沙 (兵庫県出身・経済学部国際経済学科) 「文系が少ないワンゲルですが、がんばります。」
- ・久野佑馬 (横浜市出身・工学部建設学科) 「自由奔放に生きています。
でも、意外としっかりしているんですよ？」
- ・軍司裕也 (横浜市出身・工学部生産工学科) 「初心者ですけど、がんばります。」
- ・齊藤光希 (福島県出身・教育人間科学部学校教育課程) 「それと、今日の部会には参加できません(^)
地図は買わない方向でお願いします。」
- ・白鳥義也 (東京都出身・工学部知能物理工学科) 「常盤祭でリーダーやります。」
- ・谷口貴大 (横浜市出身・工学部電子情報工学科) 「4年生の先輩に変なあだ名をつけられたりしましたが、
私は元気です。」
- ・谷口隆介 (兵庫県出身・工学部生産工学科) 「いま一番行きたい観光地は、北海道です。」
- ・花井章剛 (愛知県出身・工学部知能物理工学科) 「愛知県出身です。好きな食べ物は餃子、
嫌いなのはセロリです。よろしくお願いします。」
- ・吉原淳之介 (横浜市出身・工学部生産工学科) 「自由奔放に生きています。」



2010年5月8日
箱根駒ヶ岳神社にて

テントが新しくなった！

OB 会からのテントの支援、ありがとうございました。

新しいテントのおかげで、快適に山行を楽しんでいます。

山に行くのがよりのたのしみになりました。



20年ぶりの新しいテント。色も鮮やか

春から夏にかけての活動 (2010.年3月～7月)

- ・3月28日～4月4日に九州へ春合宿に行ってきました。
往路はフェリーを使い、復路は飛行機でした。由布岳では霧氷に出会い、木々が真っ白でした。久住では、山の上から野焼きが進んでいく様子を見ました。その後は、阿蘇、雲仙、長崎とめぐりました。
ほぼ毎日温泉に入り、九州のおいしいお酒を飲み、最後は産業遺産の軍艦島にも行き、大満足の春合宿となりました。
- ・5月8日に1年生8人を交えて新人歓迎登山に行ってきました。行先は箱根(駒ヶ岳)で、温泉と食事を楽しみました。
- ・5月28日～29日に丹沢(塔の岳)へ第1回新人練成登山に行ってきました。天気が悪かったですが、1年生には初めてのテント泊を経験してもらいました。
- ・6月26日～27日に奥多摩(七ツ石山～雲取山)へ第2回新人練成登山に行ってきました。
- ・7月10日に日帰りで箱根(金時山～明神ヶ岳)へ第3回新人練成登山に行ってきました。ここまでの3回の山行で9人全員の1年生に山に登ってもらいました。
いまのところ、みんな楽しそうにやっています。



箱根での新人歓迎登山
久々の大人数での登山!

夏合宿の計画 8月8日～13日

上高地 → 涸沢 → 奥穂高岳 → 北穂高岳 → 槍ヶ岳 → 大天井岳 → 燕岳 → 中房温泉

夏合宿は北アルプス縦走です。1年ぶりの3,000m峰、ワンゲルとして久しぶりの北アルプスということで、みんな意気込んでいます。

また、8月23日～26日には、

扇沢 → 爺ヶ岳 → 鹿島槍ヶ岳 → 五竜岳 → 唐松岳 → 八方尾根

という縦走も予定しています。今年の夏は、1年生も多くて賑やかになりそうです。

今年もやります、伝統のカレー店

11月6日(土)・7日(日)・・・常盤祭

ワンダーフォーゲル部は例年通りカレー店を出す予定です。52年目という伝統のある模擬店を、今年は大人数でお迎えします。ぜひ、お越しください!

■ OB 会費納入のお願い

会計幹事 吉野大次郎 (2期)

会報 45 号に同封の払込取扱票は、2011 年度年会費、前納会費、寄付等をお振込いただく用紙です。
ゆうちょ銀行の各店舗窓口・ATM からお振込みください。

払込手数料は 3 万円未満の場合、窓口 120 円、ATM 80 円です。

- ・年 会 費：2,000 円 (10 年 10 月から 11 年 9 月までの 2011 年度の年会費)
(払込取扱票に「今年度会費は納入済みです」という表示がある人は納入不要です)
- ・前 納 会 費：10,000 円 (2011 年度～2016 年度の 6 年間の年会費前納分)
- ・寄 付 金：(一般、小屋) どちらかを○で囲んで
- ・最新名簿代金：500 円 (郵送希望者のみ)

払込取扱票を紛失した場合は、ゆうちょ銀行で用紙を貰い、下記記号・番号と加入者名を記入してお振込ください。

記号・番号：00290-3-2419

加入者名：横浜国立大学ワンダーフォーゲル OB 会

★他の金融機関からの振込み

他の金融機関からも振り込むことができます。その場合、預金種目、口座番号は下記のようになります。振込手数料は各金融機関、振込み方式によって異なりますが、3 万円未満の場合大体 210～630 円です。

銀 行 名：ゆうちょ銀行 (9900)

店 番：029

店 名：〇二九店 (ゼロニキュウ店)

預 金 種 目：当座

口 座 番 号：0002419

カ ナ 氏 名：ヨコハマコクリツダイガクワンダーフォーゲル OB カイ

■ 編集委員からのお知らせ

【訃報】3 期の副主将を務められた森井栄子さんが 2010 年 4 月 7 日ご逝去されました。

心からご冥福をお祈りします。

通夜、告別式は 4 月 9 日、10 日 鎌倉市御成町 角喜ホールにて行われました。

- OB 会から現役部員の活動支援としてテント 3 張りが寄贈され、早速新人錬成登山や合宿に活用されています。
- 8 月 7 日 (土) に麒麟ビール工場内のレストランで現役部員の夏合宿壮行会が開かれました。現役からは 7 名、OB は 8 名の計 15 名という大勢の参加で賑やかで楽しい壮行会となり、翌日から実施される夏合宿に勢いが増しました。





車山と八島ヶ池
2010/7/21 撮影 郡司氏 (4期)

編集委員会では皆様からの投稿をお待ちしています。

自由投稿コーナーの原稿、写真、スケッチなどどしどしお寄せ下さい。

宛先 松本 (8期) marihiro@cc.catv-yokohama.ne.jp

下村 (10期) shimomurayouko@ybb.ne.jp

石垣 (20期) gakky@s2.dion.ne.jp

YWVOB 会会報第 45 号

発行 行 : 横浜国立大学ワンダーフォーゲル部 OB 会

発行 日 : 2010 年 9 月 1 日

発行 責任者 : 鈴木弥栄男(9)

編集 責任者 : 編集委員長 下村 蓉子(10)

編 集 : 編 集 委 員 松本真理子(8) 石垣秀敏(20)

印 刷 所 : 株式会社 カワチャ・プリント (東京都港区新橋 5-31-7)

編集にご協力いただいた皆様、ありがとうございました。